

平成 29 年度 第 1 回 大槌町デイサービスセンターはまぎく運営推進会議報告書

開催日時	平成 29 年 10 月 18 日 (水) 14:30~15:30
開催場所	大槌町デイサービスセンターはまぎく
出席者	・利用者家族代表 1 名 ・地域住民代表 3 名 ・町職員 1 名 ・事務局 3 名

【協議内容】

1.活動状況報告 2.その他

【活動状況報告】

(事務局より)

- ・前年より一日の利用人数が3人増となっている。平均介護度は2.1。
- ・昨年度利用者からの希望が多かった買い物ツアーは、職員が増え体制が整った為今年度は2回実施。
- ・5月に地域住民と合同の消防避難訓練を計画し練実したが、参加者が居なかった。
- ・8月には社会福祉協議会の3施設合同で河川氾濫、土砂災害を想定した避難訓練を実施。避難先での課題点が多く見られた。(課題内容を報告し情報交換を行う)

【委員からの質問・意見等】

(地域住民代表者様より)

- ・避難先について、近くにある伝承館は沢側が整備されているため今のところ災害には至っていない。沢が塞がらなければ土砂災害の危険はないが、今のところ避難所として開放したことはない。
- ・避難について、城山に避難する間の道中の方が危険ではないか？下手に動くより、施設内に留まった方が安全だと思われる(同意見多数)。
- ・災害時は、一般住民もいるため城山はとても混雑する。車いすの利用者を思えば、はまぎくにいる方が排泄時などは安心だと思う。(同意見多数)
- ・機能訓練について、今後の取り組みは？

【その他・課題等】

(事務局より)

- ・地域合同消防避難訓練の実施経験から、地域密着型施設として、今後どのような形の住民参加型の行事活動を実施すればよいか検討する。
- ・現行、避難準備が発令されると指定避難先として城山体育館へ避難することになっているが、避難訓練の経験から鑑みて、利用者の安全を考慮しマニュアルの見直しを図る。また、情報収集を行い、早めの避難やデイ利用中止等の対処を行うようする。
- ・機能訓練加算を取得したいところではあるが、実施できていない。また、看護師からPT/OTのように専門分野ではないため、取得に至って不安の声もある。

【その他について意見】

(町職員様より)

- ・避難先に必要と思われる物品等(例えば、排泄時や着替え用のミニテント等)があれば準備できるので、検討して連絡してほしい。先日の大雨の際は、大槌学園にミニテントを2つ用意した。物品は、避難所には設置する予定。

(利用者家族代表者様より)

- ・施設内の自己発生状況について、自身の経験からすべての事を目を行き届かせるのは難しいと思う。近くにいる人の目を借りて危険を察知したり、声を掛けたりなど、見守りは大切な事だと思う。